雪くま初体験

熊谷市のご当地グルメ「雪くま」。

いろんなお店でいろんな形のかき氷を食べることができる。 もどり梅雨のような曇天続きではあるが筆者熊谷入りは９日。アスファルトから立ち上る蜃気楼が「あついぞ！熊谷」そのもの。駅出口にはミストシャワーが。おもてなし都市を感じる。目的の「雪くま」は駅ビル□□で。熊谷の珈琲愛好家が長年通う珈水亭の□□店。珈琲専門店らしく珈琲味のかき氷。中にはアイスクリーム。ふわふわ氷のあとはおいしいコーヒーフロートを飲んでいるよう。

「あついぞ！熊谷」が今季限りという話。市の「あついぞ！熊谷」まちおこし関連事業で地元デパート八木橋の店頭に巨大温度計が登場。国内最高気温の４０度を突破し、メデイアからの注目も上がった。温度計は２００７年に設置し、１０年を超える来年に温度計のリニューアルとともに八木橋でキャッチフレーズの募集をするという。

「あついぞ熊谷」・「雪くま」から次はどんなキャッチフレーズとグルメが生まれるのか。まちづくりは時代とともに変わっていく、また変わっていかなければ「ひと」もついてこない。そんなことを考えた真夏の熊谷であった。